### 2016.06.22

平成28年度「第1回 グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会」及び「第1回 分野別研究会(海外への輸出・投資に関する規制緩和)」

株式会社スペック CIO 小林 篤司



## Introduction

- 1. 臨床検査の受託業務 2. 疾病の早期発見のための集団検査業務 3. 食品関連の検査業務
- 4. その他関連する業務 5. 環境計量証明事業New.「食」分野の新産業創出 ビール工場・飲食等

### 食の、お医者さんとして食の安心・安全のエキスパート

㈱スペックは、西日本を拠点に "食品衛生コンサルタント"を30年以上にわたり実施してきました。

本社&lab (徳島県徳島市)





取引先実績

徳島県、香川県、愛媛県、高知県、兵庫県、大阪府、岡山県、広島県、福岡、熊本等、四国・中国・九州を中心に、最近では、東京都 中央区・練馬区様・荒川区様など、関東の自治体様もお世話になっております。また、民間企業様は3000社と衛生コンサルタントとしてお世話になっております。



# **Our History**

立ちはだかる衛生業界の大きな課題・・・

#### 戦略的/業界的課題

- →売上構成費は60%が自治体・・・
- →衛生業界の行末
- →衛生課題の縮小



上海・マレーシア・シンガポール・香港→惨敗その後 VMLCに絞りF/S調査を経てカンボジアへ





- 食、特に野菜におけるカンボジアの課題
  - 1. すさまじい経済発展の背景に安心・安全な野菜が急務 (技術・知識の附則)
  - 2. 違法農薬が蔓延しており、農家にも健康被害が・・・
  - 3. 生産→流通→販売の一貫した民間ビジネススキームがない。

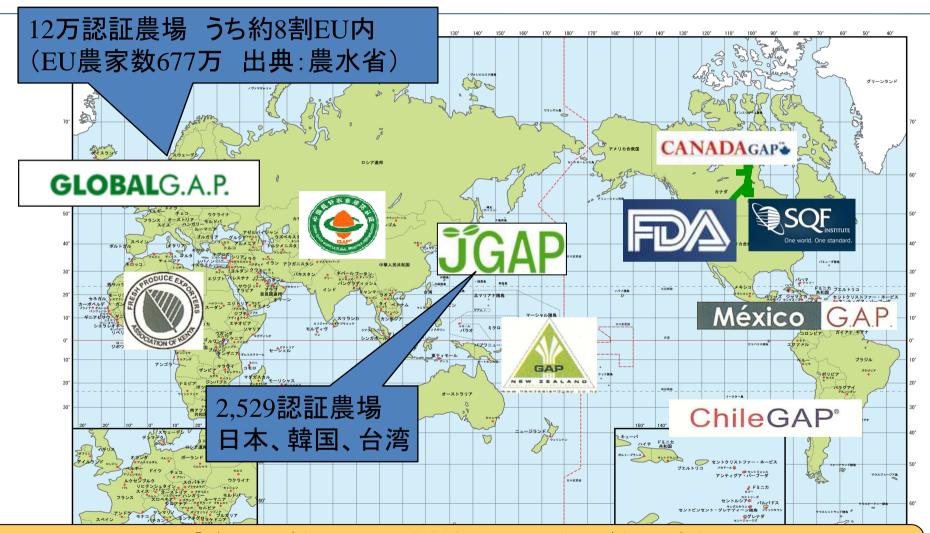
## Our Plan in Cambodia

コンソーシアムで勝負! パートナーが大切!



### Global-GAP / J-GAP 日本の農家はどうしていくべきか

資料出典: JGAPより



「バイヤーが求めるGAPの認証を取る」というのが世界の常識! 世界には様々なGAPがある。GLOBALGAPだけがGAPというわけではない。どこに輸出するのか、 そこではどのようなGAPを求めているのかを調べてから取り組む必要がある

## In the case of Cambodia

#### 輸出に関しての課題

輸出する際に課題が出てくるのは、日本側ではなく、相手国(我々の場合はカンボジア政府)側。

(問)「どういった規制があるか?」 → (回答A)「わからない」
→ 以後返答無し
(回答B) 「担当じゃないから」
→→ 「担当は?」 →→ 「わたしは知らない」
→→→「どうすればいい?」 「わからない」

(問)「○○を輸出したいがどうすればいいか?」 → 「わからない」→→ 「実際に輸出してみると止まる」→→→ お金を迫られる。。。



後発後進国の場合、政府としっかり対話しながら「正しい商売」をすること 日本人サイドがもっと、日本の制度を理解し、 日の丸を背負い、相手国と共に正しく協業することが大事